平成22年度　茨城県統計功労者表彰式の開催について

平成22年度茨城県統計功労者表彰式が，去る１月19日（水）茨城県庁９階講堂において約350名の参加のもと，盛大に開催されました。統計功労者表彰式は，３年前までは，統計大会として開催されてきており，統計功労者の表彰や児童・生徒の統計グラフコンクール表彰などを通じ，統計事業の一層の充実・発展と統計知識の普及啓発を図ることを目的として，昭和34年以来，毎年開催され今年で52回目となります。

表彰式は，主催者である岡田克幸理事兼公室長からあいさつがあった後，ご臨席された総務省統計局統計調査部国勢統計課企画官河野好行氏からご祝辞をいただき，茨城県議会議長田山東湖氏からご祝電をいただきました。

岡田理事兼知事公室長による主催者あいさつ

次いで，統計調査に長年従事され，功績が顕著な方々に対して，県知事表彰，県統計協会総裁表彰，各省大臣表彰が行われました。続いて，平成22年の春・秋に叙勲・褒章を受けられた方々が紹介された後，茨城県統計グラフコンクールの県知事賞，県議会議長賞，教育長賞，茨城新聞社長賞の各表彰及び指導者表彰があり，あわせて全国コンクール入賞者の表彰が行われました。

表彰式の開催にあたりご協力いただきました関係者の皆様，並びに表彰式にご出席されました皆様に対しまして，厚くお礼申し上げます。

統計功労者に対する表彰状授与の様子

茨城県統計グラフコンクール入賞者に対する表彰式の様子

～写真で振り返る平成22年度統計功労者表彰式～

表彰式開会前の様子（その１）

表彰式開会前の様子（その２）

統計調査員功労者に対する表彰の様子（その１）

統計調査員功労者に対する表彰の様子（その２）

叙勲・褒賞を受賞された方々の紹介（その１）

叙勲・褒賞を受賞された方々の紹介（その２）

茨城県統計グラフ（県知事賞）表彰を受ける様子

茨城県統計グラフ（県議会議長賞）表彰を受ける様子

茨城県統計グラフ（県教育長賞）表彰を受ける様子

茨城県統計グラフ（茨城新聞社長賞）表彰を受ける様子

統計グラフ全国コンクール表彰を受ける様子

茨城県統計グラフコンクール入選作品展（県庁舎11階アトリウム）

～平成22年国勢調査　茨城県審査会場の現場から～

茨城県では現在（平成23年１月21日現在），各市町村から提出された調査書類の審査を行っている段階です。平成22年11月から平成23年２月にかけて行われ，数多くの臨時職員他，県統計課職員が毎日交代で業務に当たっています。

１月７日に統計局・統計センターへ第１次提出を行い，１月18日に第２次提出を行いました。さらに，２月23日には，最終提出となる，第３次提出を行う予定となっております。第１次提出分である「市区町村要計表」を基に２月25日に，平成22年国勢調査の「人口速報集計」が公表される予定です。 今回は，日々審査業務を行う臨時職員さんに，審査業務についてインタビューを行いました。以下はインタビューの内容です。

Ｑ１：審査業務をする上で気を付けていることはありますか？
Ａ：調査票の読み間違えをしないことです。ケアレスミスをしないことも重要です。
Ｑ２：審査する量が膨大なので大変ではないですか？
Ａ：マンネリ化を防ぐため，周りのスタッフとの適度なコミュニケーションをとるように心掛けています。それにより単調な作業でも集中力が高まり，仕事の能率がUPします。やはり仕事の基本はコミュニケーションです。

Ｑ３：この仕事をする上で大変なことはどんなことですか？
Ａ：消しゴムを使う頻度が高く，手が痛くなります。あまりにも消しゴムのカスが多くなるのでカス入れを作りました。また，ボールペンで書いてある調査票は書き直さなければならず大変ですね。
Ｑ４：この仕事で達成感を感じるときはどんなときですか？
Ａ：ひとつの市町村の調査票すべてを審査し終えたときです。一つの区切りということでやはり達成感を感じます。それは市町村の規模の大小に関わらず感じます。自分たちがやってきた仕事の結果なんだなと。
Ｑ５：審査業務をするなかでうれしい瞬間はどんなときですか？
Ａ：調査票に書いてある字や数字がきれいだとやっぱり読みやすく，そのときは，ありがたいなと思いますね。自分も５年後の国勢調査の時には，審査する側の立場に立って，今以上にていねいに調査票を記入したいと思います。

審査担当の皆様，お忙しい中，質問に答えていただいてありがとうございました。